

子育てを 楽しもう



地域子育て支援センター (太田第二保育園内)

開館時間 9:00~正午 13:30~15:00
休館日 土・日・祝日、園の行事のある日
電話 27-7951
子育て相談 9:00~16:00(土・日・祝日以外)
対象 就園前の子と保護者

(園庭開放)

親子教室のない日に、工作、体操、手遊び、シアターなどを行っています。
赤ちゃんDay 毎週金曜日
2カ月~歩く前の子と保護者
よちよちDay 毎週水曜日
歩き始めの子と保護者
てくてくDay 毎週月曜日
走って遊べる子と保護者
異年齢の園庭開放 毎週火・木曜日
0歳~就園前の子と保護者
※2日(月)・3日(火)は、鬼の面作りをします

(発育測定) 3日(火)・5日(木)

※4日(水)~7日(土)に、太田第二保育園の作品展があります。支援センターに来てくれる子どもたちの作品も展示します

サンサンルーム (おはなし広場) 毎週火曜日

(総合福祉会館内) 午前10時30分~
開館時間 9:00~16:30 毎月第3火曜日は、よみきかせボランティアの人がお話をしてくれます。
休館日 日・祝日
電話 27-6555
子育て相談 9:00~16:30 (平日のみ) 午前10時30分~
(遊びの広場) 毎週金曜日
「昔なつかしいあそび」をテーマに遊びます。

サンサンルームは、
床改修工事のため、
2日(月)~14日(土)
は、休館します

そのほかの子育てサロン会場

すくすくルーム (みのかも健康の森) 毎週月・火曜日
にこにこルーム (津田左右吉博士記念館) 毎週木・金曜日
※いずれも午前10時~午後3時
びよびよルーム (中部台公民館) 毎週水・金曜日
※午前10時~午後2時

加茂野児童館

開館時間 9:00~正午
13:00~17:00
休館日 日・祝日
☆土曜日は、一日開いています
電話 28-8878
子育て相談 9:00~16:30 (日・祝日以外)

(未就園児対象)
なかよしデー 4(水)・16日(月)
午前11時~11時45分
パパザウルス 14日(土)
午前10時30分~11時30分
お父さんと一緒にふれあい遊び。
発育測定 27日(金)
午前11時~正午
※読み聞かせは随時行っています

(小学生対象)

囲碁クラブ 毎週土曜日
午前9時~10時
リトルクラブ 28日(土)
午後1時30分~3時
「ゲームで遊ぼう」

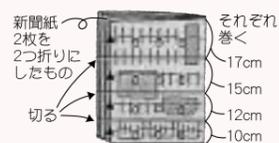
行事のある日でも
児童クラブ室で
遊べます



『新聞紙スティック』を作って・遊んでみよう!

身近な素材で手作りおもちゃを作ってみませんか。2歳ぐらいの子どもの目の前で作って見せると、作る過程を喜び、おもちゃへの親近感がわきます。

『新聞紙スティック』の作り方



新聞紙2枚を二つ折り(計4枚重ね)にし、10cm、12cm、15cm、17cmなど適当な幅に切り、クルクルとしっかり巻き、上からカラフルなビニールテープで巻きまわす。

※先端がとがらないように気を付けましょう

問 こども課 内線314

あそび①

たたいて遊ぼう!



空き箱や空き缶を太鼓に見立て、新聞紙スティックをばちにして鳴らして遊びます。

あそび②

入れて、出して遊ぼう!



ペットボトルの中に新聞紙スティックを入れたり出したりして遊びます。



oh! マイ、 スクール

学校訪問 43

古井小学校



古井小学校6年
あかり
重森 明香利さん

異文化交流・古井小学校総合学習

私たち古井小学校では、総合的な学習の時間に、他の国のことを少しずつ勉強しています。

私は、三年生でブラジルの遊びを調べて遊んだり、四年生で、日本とブラジルの音楽を演奏して比べたりしました。そして、このことを生かして市の音楽会では校歌をサンバ風にして演奏しました。五年生では、自分の調べたい国の文化や食べ物などを図書室の本やインターネットで調べ、新聞風にならべて発表しました。六年生では、外国の文化について五年生よりも、よりくわしく調べ、リトルワールドへ行って、本やインターネットでは調べられなかったことや実際の服装・食べ物・住居を見てきました。

また、私たち古井小の児童は、普段から外国籍の友だちと一緒に遊んだり、授業をしったりしています。十一月十六日には、全校で「ふれあい集会」を行い、各学年が総合的な学習の時間に一年間で学んだことを発表し交流しました。その時、私たちの国際理解の学習活動が認められ、ユネスコ協会から青少年グランプリ国際賞を頂きました。私は、とてもうれしく、これからも国籍の違う友達とも友情を深め、楽しい学校生活を送れるようにしていきたいと思っています。

だんらん

民泊

第118話



「お父さん、この人だれ?」と、息子が写真入りの年賀状を差し出しました。
「この子はね、お父ちゃんが国体に出場した時に、民泊(一般の家庭に泊まる)した家のご主人さんのお孫さんだよ。野球で甲子園を目指しているみたいだね。息子は、そうか。今でも年賀状来るの、長い付き合いだね」

昭和56年、わたしが滋賀県草津市「びわこ国体」卓球成年男子に出場した時のことです。民泊先は、琵琶湖畔の北山田町で、漁業や農業を営んでいる集落の入り母屋造りの立派なお宅でした。

民泊先に着いた当日は、地元の公民館にて地元婦人部のお世話で夕飯をいただき、その後、郷土芸能の披露で自治会あげでの歓迎会。民泊先へ戻れば試合に差し支えない程度のお酒や、家庭の味を振る舞っていただきました。

翌日、総合開会式や練習場の行き帰りには、町の人たちとすれ違つた時に、「こんにちわ」が

ばつてよ」のあいさつや言葉を掛けてもらったり、練習後には、自家の息子さん(年賀状の写真の父)に地元の観光名所を案内してもらったりしました。

試合当日、民泊先の自治会の皆さんが手作りの旗を会場に持ち込み、まるで自分のチームであるかのようにわたしたち岐阜県選手団の応援をしてくれました。

そのおかげもあって、絶好調に近い状態で試合に臨むことができ、成績は2戦全勝でした。

民泊でお世話していただいた家庭、地域の人たちと心温まる交流ができ、27年たった今でもその光景が目につくたび、わたしの大きな思い出の一つになっています。

平成24年に岐阜県で「ぎふ清流国体」が開催され、美濃加茂市では、バレーボール競技が行われます。全国から集まった選手、役員、応援団の皆さんを市民総参加の団体として、温かなおもてなしの心で迎えたいと思います。

(文責 安藤)